

南予ミニバスケットボール連盟注意事項

■体育館使用の注意

- 全体育館、ロビーではボールを使用しない。
- 体育館のエレベーターは、身体障害者用です。
- 体育館の電源は、すべて使用禁止。
- フロアにはぬれタオル等の持ち込みは厳禁。
- 枠外駐車や路上駐車は絶対にしない。
- トイレでのシューズの履き替えは必ずすること。
- 通路や階段にシートを敷いたり荷物を置いたりしない。ランニングコースは選手のアップ用です。
- 観客席の前で立って、応援をしたりビデオの撮影をしたりしない。
- 団旗は、フェンスの下に付けること。
- 体育館内での飲酒は厳禁、喫煙についても体育館のきまりを守って行うこと。
- ごみの始末は、各チーム責任を持って行うこと。

チーム責任者へ

この文書は、指導者はもちろん、チーム全員に印刷・配布し、保護者にも選手にも必ず徹底してください。

■競技上のマナー

- ベンチに入る選手及び大人は必ずシューズを履くこと。スリッパは認めない。
- ベンチで立って指示を出してよいのは、腕章を付けた監督またはコーチ1人だけです。
- ベンチでの座り方にも気をつけてください。もちろん、フロアに寝転がったりすることは大変マナーに反します。
- 指導者は、子どもの模範となるように。特に「相手チームに威圧感を与えるような言動」「ルールに則らない行動」「ゲーム中にコート内に入る行為」等を行わないように。
- 審判やジャッジに対しての暴言を吐かない。また、子どもに対して、審判のミスで負けたという指導をしても、何一つ子どもの成長はありません。
- 試合後は、ベンチから審判に握手を求めに行くのがバスケットボールのマナーです。男女を問わず、ベンチから握手を求めに行き、気持ちよくあいさつをしましょう。
- ユニホームについては、跳んだりした時にめくれ上がらないように加工がしてある物以外は、シャツを出すことはできません。加工していないユニホームは必ずシャツをパンツの中に入れてください。
- 大会に出場するに当たっては、選手にオフィシャルをできるよう指導しておくこと。
- ベンチでは鳴り物やメガホンを使っての指導・応援は禁止である。うちわもたたくと鳴り物とみなされる。
- ミサンガやヘアピン等は禁止されている。つめも伸びていないか確認してください。
- ベンチに入る指導者は、ピアスをつけることは禁止されています。

※ 以上のこと等に関し、バスケットボールにおいては、監督が全て（応援の保護者も含め）を把握・指導するようになっていきます。監督は自覚をもって試合に望んでください。